

各学校における本モデル授業の活用にあたって

1 本モデル授業の特徴

本モデル授業は、新学習指導要領に基づき、児童生徒の豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指し、以下のオリンピック、パラリンピックの価値に着目して作成しました。

オリンピックの価値

- **卓越 (Excellence)**
スポーツに限らず人生においてベストを尽くすこと。大切なのは勝利することではなく、目標に向かって全力で取り組むことであり、体と頭と心の健全な調和をはぐくむことである。
- **友情 (Friendship)**
スポーツでの喜びやチームスピリット、対戦相手との交流は人と人とを結び付け、互いの理解を深める。そのことは平和でよりよい世界の構築に寄与する。
- **敬意/尊重 (Respect)**
互いに敬意を払い、ルールを尊重することはフェアプレー精神をはぐくむ。これはオリンピック・ムーブメントに参加するすべての人にとっての原則である。

『JOC の進めるオリンピック・ムーブメント』

<https://www.joc.or.jp/movement/data/movementbook.pdf>

(平成 26 年 公益財団法人 日本オリンピック委員会)

パラリンピックの価値

- **勇気 (Courage)**
マイナスの感情に向き合い、乗り越えようとする精神力
- **強い意志 (Determination)**
困難があっても、諦めず限界を突破しようとする力
- **インスピレーション (Inspiration)**
人の心を揺さぶり、駆りたてる力
- **公平 (Equality)**
多様性を認め、創意工夫をすれば、誰もが同じスタートラインに立てることを気づかせる力

日本パラリンピック委員会 HP

<https://www.jsad.or.jp/paralympic/what/index.html>

2 モデル授業を活用する際の留意点

本モデル授業は、学習活動や発問、指示、課題等を単独で活用できるモデルとして作成しています。学習活動は時系列で示していますが、**各学習活動が授業の1単位時間に限定して示しているものではありません。**また、**モデル授業全体が、単元全ての学習内容を示すものでもありません。**先生方が指導を行う学習内容に関連させながら活用できるようにしています。

なお、児童生徒の学びや気付きはあくまで予想であり、児童生徒がこのような学びの姿にならないければならないものではありません。活用にあたっては、予想外の児童生徒の反応も肯定的に受け止めたり、後の振り返りを丁寧に行ったりし、授業改善を進めることが重要です。本モデル授業を参考に、各学級や児童生徒の実態に応じた体育科、保健体育科の授業改善につなげてください。

3 本授業モデルのポイント

学校

保健体育科の指導における オリンピックの価値に着目したモデル授業

着目したオリンピック(パラリンピック)の価値

モデル授業実施の際に、着目する価値を示しています。

学年 第 学年

モデル授業の対象学年を示しています。

単元名

「本事例の特徴を示したタイトル」
【新学習指導要領に示された単元名】

本モデル授業の特徴

オリンピック、パラリンピックの価値に着目した授業を実施することで、児童生徒に育成が期待できる資質、能力の例を新学習指導要領で育成を目指す資質・能力の3つの柱で整理して示しています。

モデル授業作成の意図や授業の内容や流れ、児童生徒に育成が期待できる資質、能力など、授業の全容が分かるよう、モデル授業の特徴をまとめて記載しています。

また、オリンピック、パラリンピックの価値に着目しながら、体育科、保健体育科で指導する領域・種目・単元等をどのようにとらえて作成したのかを表現しています。また、学校、児童生徒の実態を踏まえ、どのようなことに留意して作成したのかを解説しています。

目標(育成が期待できる資質、能力)

- (1) 知識及び技能
- (2) 思考力、判断力、表現力等
- (3) 学びに向かう力、人間性等

展開

学習活動	発問，指示，課題等	児童・生徒の学びや気づき
<p>学習活動は、授業の時系列で配列しています。なお、学習活動単独でも、授業で活用できます。</p>	<p>授業で教師が生徒に示す発問や課題、その提示の仕方等を記載しています。</p>	<p>設定した学習活動の中で、準備した発問、指示、課題等に取り組みさせることで、児童生徒の予想される学びの姿(発言、行動、記述等)を具体的に記載しています。</p>

体育科の指導における オリンピックの価値に着目したモデル授業

着目したオリンピックの価値 「敬意, 尊重 (Respect)」

学年 第4学年

単元名 「広島小オリンピック～4人制タグラグビー～」

E ゲーム ア ゴール型ゲーム (タグラグビーを基にした易しいゲーム)

本モデル授業の特徴

新学習指導要領の第3学年及び第4学年の内容の取扱いにおいて示された「(3) 内容の「E ゲーム」の(1)のア(ゴール型ゲーム)については、味方チームと相手チームが入り交じって得点を取り合うゲーム及び陣地を取り合うゲームを取り扱うものとする。」に対応したタグラグビーを基にした易しいゲームの指導に活用できる授業モデルです。

運動領域の単元名を「広島小オリンピック」に統一することで、オリンピックの価値に着目した指導を意識的に継続して行うことができるようにしています。

前半の指導では、規則の内容を理解しゲームの中で守ることができるようにすること、後半の指導では、規則を守ること以外のフェアなプレイに着目させ、その具体をフェアプレイリストとして、他の領域でも活用できるよう工夫しています。本単元では特に、一緒にゲームをする友達に敬意を払ったり、頑張りを認め合ったりすること、ベストを尽くすことなどの要素の入ったプレイに着目させることをねらいとしています。

目標

(1) 知識及び技能

自分と友達が楽しくゲームをするための行い方を理解することができる。

(2) 思考力, 判断力, 表現力等

誰もが楽しくゲームに参加できるよう、規則を工夫したり、行動を選ぶことができる。

誰もが楽しくゲームに参加するための方法を見付け、工夫するとともに、ゲームでフェアなプレイをした時の気持ちを友達に伝えることができる。

(3) 学びに向かう力, 人間性等

進んでゲームに取り組む中で、ゲームの規則を守り、誰とでも仲よくすることができる。

ゲームの勝敗を受け入れることができる。

ゲームや練習の中で、友達の考えを認めることができる。

展開

学習活動	発問, 指示, 課題等	児童・生徒の学びや気付き
試しのタスクゲーム (「タグ取り鬼」1対1タグ取り)を行い、ゲーム後に規則が守れなかった場面を振り返る。	【試しのタスクゲーム終了後の問い】 発問 「規則が守れなかった場面はありましたか。」	規則が守れなかった場面を思い出し、スポーツでは、規則を守ることができなくなる場面が存在することを理解する。 【児童の回答例】 「タグを手でおさえてしまったよ。」 「線をはみ出したのに、進んでしまったよ。」 「タグをとられそうになったとき、体を回してしまったよ。」 「タグをつける位置を横でなく後ろにしてしまっていたよ。」
	発問 「規則が守れない時は、どんな時ですか。」	規則が守れなかった場面を客観視し、スポーツのどのような場面で規則が守れなくなるのか理解する。 【児童の回答例】 「規則が分からなくなった時。」

		<p>「ゲームに夢中になり，規則を忘れてしまった時。」</p> <p>「自分の思い通りにするためにズルをしようと思った時。」</p> <p>「自分が規則を守れていないことに気付いていない時。」</p>
<p>タスクゲームを行う前に，規則を守らないでゲームを行うことの問題点を考え，規則を守ることの大切さやどうすれば規則を守ることができるか考える。</p>	<p>【タスクゲーム開始前の問い】</p> <p>発問 「みんなが規則を守らずに試合をしたら，どんな困ったことが起こると思いますか。」</p>	<p>規則を守ることで，楽しくプレイできることを実感し，規則の必要性を理解する。</p> <p>【児童の回答例】</p> <p>「けがをする。」「けんかになる。」</p> <p>「めちゃくちゃになって，楽しくなくなる。」</p> <p>「いやな気持ちになる。」</p>
	<p>発問 「どんな工夫をすれば，みんなが規則が守れると思いますか。」</p>	<p>規則を守ることができるようになるための具体的な方法や行動について，考える。</p> <p>【児童の発言例】</p> <p>「どんな規則か分からなくなったら，掲示物を見たり，友達に聞いたりして確認する。」</p> <p>「自分が規則を守れているかどうか，友達に教えてもらう。」</p> <p>「自分が規則を守れていないことを教えてもらったなら，ごまかさずに認める。」</p>
<p>全員がゲームを楽しむことができる規則を話し合い，規則やマナーを楽しみながら，ゲームを行う。</p>	<p>【メインゲーム1（規則を守ることを意識したゲーム）開始前の指導】</p> <p>課題 「みんなが笑顔になれる工夫をしながら，4人制タグラグビーのゲームを楽しみましょう。」</p>	<p>規則を守り，相手を思いやりながらゲームをすることで，スポーツは楽しくなることを感じる。</p> <p>【規則の工夫例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タグは体の横に付ける。 ・ボールを持った人がコートの外に出たら，相手の攻撃となる。 ・後方に逃げたり，後ろ向きに走ったり回転したりしない。 ・タグを取られたら立ち止まって味方にパスをし，しゃがんでタグを付け，ゲームに参加する。 ・守る時はボールではなく，相手のタグを取る。 ・タグを取る際は大きな声で「タグ！」と言う。 ・タグを取ったらしゃがみ，相手がパスを出してからタグを返してゲームに参加する。 <p>【児童の行動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの児童がタグの位置やコートのライン，規則に沿った動き方などを確認し，ゲームをしている児童に伝える。また，その指摘をされた児童が認める。 ・試合と試合の合間に，互いに規則が守られているかについて話し合う。 ・タグを取った児童だけでなく，それに気づい

		<p>た児童全員が「タグ！」と言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タグを返す際に「どうぞ!」「ありがとう!」と声を掛け合う。 <p>規則を守ろうとする態度が表出した際にはその言動を認め、周りの児童にもそういった言動に気付くことができるよう支援する。</p>
<p>規則を守ることの大切さについて感じたことを振り返り、友達や教師に伝える。</p>	<p>【メインゲーム1終了後の問い】</p> <p>発問</p> <p>「規則を守ってゲームをすると、どんな気持ちになりましたか。」</p> <p>「規則を守っている友達を見ると、どんな気持ちになりましたか。」</p>	<p>規則を守ろうとするものの良い効果について振り返り、今後の活動に生かす。</p> <p>【児童の発言例】</p> <p>「いい気持ち。」「拍手を送りたい。」</p> <p>「みんなで仲良くゲームできる。」</p> <p>「規則を守って、ゲームに勝ちたい。」</p> <p>「友達にも規則を守ってほしい。」</p> <p>「規則を守ってくれてありがとう。」</p> <p>「自分も規則を守ろう。」</p>
<p>タスクゲーム終了後に振り返りを行い、どうすればより楽しくゲームができるか考え、話し合いながら、タスクゲームをする。</p>	<p>【メインゲーム1終了後の振り返り】</p> <p>課題</p> <p>「規則を守るために、どんな工夫をしましたか。学習カードに書きましょう。」</p>	<p>規則を守ることができるようになるための方法や行動についてメインゲーム1での行動を振り返り、その内容を視覚化させることで、そのイメージを強化する。</p> <p>【児童の記述例】</p> <p>「まずはしっかり規則を覚えよう。分かりやすく、書いておくといい。」</p> <p>「規則が守れるよう、友達と声をかけ合う。」</p> <p>「どっちが正しいか分からなくなった時は、じゃんけんで決める。」</p> <p>「次に並んでいる人が審判をするといい。」</p> <p>「規則を破りそうになる弱い自分に負けない。」</p> <p>「友達の話をもっと聞こう。」</p>
<p>規則に加え、マナーを守ることで、みんながゲームをより楽しめることを理解する。</p>	<p>【メインゲーム2(マナーを守ることを意識したゲーム開始前の指導)】</p> <p>課題</p> <p>「もっとみんなが楽しくゲームをするためには、どうすればいいですか。」</p>	<p>規則を守ることに加え、マナーを守ることで、より楽しくゲームができることを理解し、プレイできる。</p> <p>【児童の発言や行動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合の前後にあいさつやあく手をする。 ・友達が失敗したときは、みんなで『ドンマイ!』と掛け声をかける。
<p>規則やマナーを守ったゲームの振り返りをする。</p>	<p>【メインゲーム2終了後の指導】</p> <p>課題</p> <p>「ノーサイドの後に、相手チームの友達に、一言声をかけましょう。」</p>	<p>フェアなプレイとともに相手に対する敬意を大切にプレイできたときの気持ちを振り返らせ、仲間に伝える。</p> <p>【児童の発言例】</p> <p>「規則がきちんと守れていて、気持ちがよかったよ。」</p> <p>「みんなで大きな声で応援したり、励ましたりできるいいチームだね!」</p> <p>「最後まで全力で走ってたね!」</p>

規則や規則の大切さについて振り返り、今後の学習に生かそうとする。

【学習活動の振り返り】

課題

「広島小オリンピックのフェアプレイリストを作ります。リストに入れる言葉を学習カードの書きましょう。」

リストは、教師が児童の言葉を集約し作成する。

規則やマナーを守ることでスポーツはより楽しく行えることを理解し、フェアなプレイを大切にすることを今後の学習に生かすために、言語化する。

【児童の記述例】

「友達を大事に、全力プレー」

「思いやりで、笑顔いっぱい」

「友達のアドバイスにありがとう」

「規則を守ってみんなが笑顔に」

「きちんとありがとうの気持ちを伝えよう」

「みんなで『ドンマイ』」

「ノーサイドの気持ちを大切に」

【タスクゲームの例】

2 タグとり鬼

左右の手で一本ずつ2本までとれる。
※タグの色でチーム対抗にもできる。

! ・タグを2本とられてもそのまま続けるよ。2本とった人はあては逃げるだけだよ。コート半分で20人以上は入れないよ!
・後ろに動いたらダメだよ!ぶつかるよ!

3 ボールを持って走ろう

1 1対1タグとり

ゴールを目指して走るチームと、走ってくる人のタグを取るチームに分かれ1対1でタグの取り合いをする。守りをしたら攻めに並ぶ。

お互いにぶつからないようにしましょう

両手でボールを持とう

! ・タグをとったら相手にかえそう
・工夫した走り方で相手をかかわしてトライしよう

【規則の例】

タグラグビーのコートと用具

1 やさしいタグラグビーのコート(4人制)のめやす

センターラインの中央「X」から、自分より後ろ2m以内の味方にパスしてゲーム開始。1チームの人数は、4~5人。試合時間は、前半5分・後半5分、ハーフタイム(前・後半間の休み時間)は1分。前後半でコートチェンジしよう。

※人数や時間は工夫してかえてみよう
本モデル授業では前後半ともに3分

2 タグラグビーの用具

1 タグラグビーセット人数分
(一人分:タグ2本及びタグベルト1本)
★なければ...はちまき、ハンカチ、タオル等

2 市販のタグラグビーボール
★なければ...小さい洗濯ネットに紙や布切れを入れて作った楕円球

3 ポイントとなるマーカー6個
★なければ...目印となるライン等

※ラグビーフットボール協会からの買出しもできます。

20m
12m

ゴールライン
センターライン
タッチライン
描画線

攻める
守る

!いい球をどったね
ありがとう

【ノーサイド — No side —】
ゲームが終わることを、ノーサイドと言います。勝っても負けても、握手して、お互いの健闘を称え一緒に「がんばったね」「ありがとう」と、友達になること。

【参考】「タグラグビーオフィシャルウェブサイト」

<http://www.tagrugby-japan.jp/>

「みんなでトライ! タグラグビーガイド」

<http://www.tagrugby-japan.jp/guide/g04.html>

体育分野（体育理論）の指導における パラリンピックの価値に着目したモデル授業

着目したパラリンピックの価値 「インスピレーション(Inspiration)」

学年 第3学年

単元名 「文化としてのスポーツの意義」【H 体育理論】

本モデル授業の特徴

オリンピックと比べると関心の低いパラリンピックやパラスポーツの課題に着目し、パラスポーツの体験を通して、スポーツの持つ多様な魅力はパラスポーツも共通であることを理解させる。

また、共生社会実現に向けてのパラスポーツの果たせる役割について気づき、行動の変容を促すことにつなげる。

また、自分自身の多様なスポーツとの関わり方について考え、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を高めていくことを目的とした学習モデルである。

目標

(1)知識

パラリンピックの在り方や価値について理解することができる。

一人ひとりの違いに応じて楽しめる、スポーツの魅力について理解することができる。

スポーツの、人や社会にあたえる影響力について理解することができる。

(2)思考力,判断力,表現力等

スポーツの意義・文化的価値について説明することができる。

パラリンピックの国際的な役割について説明することができる。

(3)学びに向かう力,人間性等

一人ひとりの違いを認め、自己の最善を尽くして運動することができる。

誰もが楽しめるというスポーツの多面性について関心を持ち、自主的に学習や話し合い活動等に取り組むことができる。

運動における競争や協働に取り組む際に、勝敗などを冷静に受け止め、互いに協力し、一人一人の違いを大切にすることができる。

展開

学習活動	発問, 指示, 課題等	児童・生徒の学びや気づき
パラスポーツの課題や自らのパラスポーツへの関心について考える。	発問 「この選手たちを知っていますか？」 Q1 ウサイン・ボルト Q2 鈴木誠也(広島カープ) Q3 パラメダリスト 写真を示し、回答させる。	パラリンピアンへの認知が低いことに気付かせ、パラリンピックの課題について考える。 【生徒の発言例】 「今まで、日本にパラリンピックの金メダリストがいるなんて知らなかった。」 「今までオリンピックには関心があったけど、パラリンピックはあまり見たことがなかった。」 「オリンピックと同じはずなのに、何でパラ選手は有名じゃないのだろうか。」
	調べ学習 「オリンピックとパラリンピックそれぞれのシンボルマークの意味を調べましょう。」	オリンピック、パラリンピックのシンボルマークの意味について知り、大会の成り立ちや、大会の意義について理解する。
スポーツは誰もが親しめるものであるということを理解する。 ゴールボール体験	課題 「スポーツの特性を意識して、ゴールボールに挑戦してみよう！」	ゴールボールの特性に触れ、スポーツには、共通の楽しさがあることを体感する。

	<p>課題 《ゲーム終了後の生徒への問い》 「ゴールボールを体験して感じたことを予想していたゴールボールの楽しさや喜びを比較して、学習カードに書きましょう。」</p>	<p>ゴールボールには、競争性、協働性、卓越性などの特性があり、本質は健常者が行うスポーツと同じであることに気付く。 【生徒の記述例】 「すごい集中力や判断力が必要で想像以上に難しかった。」 「実際に自分にできるのかと不安だったけど、周囲のサポートやルールの工夫があって成り立っているのだと思った。」 「音からボールの動きを推測したり、体を使ってブロックをしたりするところが面白かった。」 「ゴールボールは、ルールが工夫されていて、勝つための作戦も立てながら、他のスポーツと同じように楽しめた。」</p>
<p>パラリンピックの国際的な役割について考える。</p>	<p>発問 「2020年東京大会の大会モットーは『United by emotion(感動で私たちは一つになる)』とされています。パラリンピックやパラスポーツは、社会にどのような変化をもたらすことができると思いますか？」 【参考】大会モットー https://tokyo2020.org/ja/games/vision-motto/</p> <p>発問 「小池百合子東京都知事は『パラリンピックの成功なくして、東京2020の成功はない』とコメントしています。2020年東京パラリンピックはどのような大会になれば、成功したと言えると思いますか。」</p>	<p>パラスポーツのもつスポーツの意義や価値、また、国際的なスポーツ大会の役割について考えさせる。 【生徒の回答例】 「パラアスリートの姿から、スポーツの夢や感動を広げることができる。」 「障害者への理解が広がり、誰もが活躍できる社会になる。」 「みんなが互いに助け合える社会になることで、国際平和への架け橋になる。」 「共生社会の理解が深まり、世界中が一つになる。」</p> <p>パラリンピックの意義について考えさせる。 【生徒の記述例】 「観戦チケットの完売」 「日本人選手のメダル獲得数の増加」 「国内のバリアフリー化の質の向上」 「整備したパラスポーツ施設の活用」 「パラスポーツの認知度向上」 「パラスポーツを支える人の増加」</p>
<p>パラリンピックの推進について考える。</p>	<p>課題 「どうすればパラリンピックが熱狂を生むために、社会や個人にできることにはどんなことが考えられますか？学習カードに書きなさい。」</p>	<p>パラリンピックやパラスポーツを推進するためには、どのような方法を考えさせる。 【生徒の記述例】 「マスコミがもっとパラリンピックやパラスポーツ選手に着目して、情報発信する。」(マスコミの在り方) 「誰もがパラスポーツに親しめるような環境づくりをしていくべき。」 「どの運動施設でも当たり前のようにパラスポーツができるようにする。」</p>

科目体育（体育理論）の指導における オリンピックの価値に着目したモデル授業

着目したオリンピックの価値 「卓越(Excellence)」

学年 第1学年

単元名 「スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」【H 体育理論】

本モデル授業の特徴

スポーツの魅力の一つである「卓越性」は人や社会に大きな影響力を持ちます。

この単元では、ドーピングの本質的な問題点を考えることを手掛かりに、スポーツの価値や、現代社会における課題を理解し、今後のスポーツの在り方や可能性について学習します。

また、スポーツの持つ多様な魅力を活用した、スポーツの力による、よりよい社会づくりについて考えます。

目標

(1) 知識及び技能

オリンピズム・オリンピックムーブメントについて理解することができる。

現代スポーツの課題について理解することができる。

スポーツが人や社会に与える影響力について理解することができる。

(2) 思考力、判断力、表現力等

スポーツ・オリンピックの持つ普遍的な意義や価値と、現代スポーツ・オリンピックの抱える課題を比較しながら、スポーツの力について説明することができる。

(3) 学びに向かう力、人間性等

スポーツの概念（多面性）について関心を持ち、自主的に学習に取り組むことができる。

運動における競争や協働に取り組む際に、勝敗などを冷静に受け止め、互いに協力し、一人一人の違いを大切にしようとするすることができる。

展開

学習活動	発問，指示，課題等	生徒の学びや気付き
スポーツの魅力について考える。	<p>発問 「今まで、スポーツをしたり、見たり、支えたりしてきた中で、思い出に残っていることはありますか。」</p> <p>活動 新聞のテレビ欄の中から、スポーツに関係する番組を選び、マーキングする。</p>	<p>今までの自分の経験を振り返り、仲間と共有することにより、スポーツの持つ多様な魅力について考える。</p> <p>【生徒の回答例】 「中学校の運動部活動の最後の試合の後で、感動して涙が出たこと。」 「広島カーブのリーグ優勝が嬉しかった。」 「体育の授業で、鉄棒の逆上がりがはじめてできた時のことが忘れられない。」</p> <p>スポーツへの社会的な関心の高さを確認する中で、スポーツの持つ力を実感する。</p>

	<p>発問 「何故，人はスポーツに魅了されるのでしょうか。」</p>	<p>スポーツの持つ卓越性は，人を引き付ける魅力があることを理解する。</p> <p>【生徒の回答例】 「可能性に挑戦することの価値を感じる。」 「スポーツの中に，自分の人生を重ねる。」 「スポーツの中に人の可能性を見る。」</p>
<p>ドーピングの問題点について考える。</p>	<p>発問 「あなたは，陸上競技 100m 競走の選手です。目の前に飲めば必ず誰でも 100m を 9 秒台で走れる，人体に全く害のない薬があるとします。あなたはこの薬を使い競技力を向上させることに賛成ですか，反対ですか，理由とともに考えてみましょう。」</p>	<p>ドーピングは身体的悪影響のみならず，スポーツの文化的価値を失墜させることを学び，既習内容（メディア等がスポーツを歪める可能性）と関連付けながら現代スポーツの課題について理解する。</p> <p>【生徒の回答例】 「賛成：人体に害がないのであれば，使ってもいいと思う。」 「反対：薬の力を使って速く走っている姿には，スポーツの魅力を感じない。」 「条件付き賛成：選手全員にこの薬を飲ませて，今までにないスピードで競い合うレースを見てみたい。」</p>
<p>オリンピック・ムーブメントについて理解する。</p>	<p>調べ学習 「近代オリンピックの提唱者である，ピエール・ド・クーベルタンは，なぜ，近代オリンピックを開催しようと考えたのか。」</p>	<p>オリンピック・ムーブメントとは，スポーツの持つ力を利用し，オリンピック競技大会などを通じて人々の友好を深め，世界平和に貢献しようとする社会運動であることを理解する。</p>
<p>オリンピズムを理解し，スポーツに求められる高潔性について考える。</p>	<p>発問 「もし，現代スポーツの現状をクーベルタンが知ったとすると，何を喜び，嘆くと思いますか。」</p>	<p>スポーツには，様々な意義や価値があると同時に，スポーツが発展する中で生じた過剰な商品化等，オリンピック・パラリンピック競技大会や現代スポーツが抱えている様々な課題等について理解する。</p> <p>現代スポーツの特徴とオリンピズムを比較し，スポーツの概念について理解する。</p> <p>【生徒の回答例】 「ある国で自然災害等が発生した際に，世界中で，チャリティスポーツ大会が開催されたり，国や地域を超えて，様々なスポーツ選手が，メッセージや寄付を贈っていることを喜ぶと思う。」 「大会等で勝つことのみを求めて，ドーピングが横行していること，また，その背景には，勝者に与えられる巨額な賞金があること等，スポーツが発展する中で，本来の意義や価値が歪められていることを嘆くと思う。」</p>

<p>オリンピックムーブメントについて考える。</p>	<p>発問 「スポーツの力で、社会にどんな影響を与えられますか。」</p>	<p>オリンピックムーブメントとは、スポーツの多様な力を活用した社会変革であることを理解し、スポーツの価値に気づく。</p> <p>【生徒の回答例】</p> <p>「現在、地域社会における人間関係の希薄化などが問題視されているため、地域住民が自由に参加できるスポーツ大会を開催し、スポーツを通じて住民が交流を深め、地域の連帯感を醸成する。」</p> <p>「スポーツを通して、子供たちに、自己責任や克己心、フェアプレイの精神等を培うことができる。また、スポーツは、様々な要因による子供たちの精神的なストレスの解消にもなり、青少年の健全育成に役立つ。」</p>
<p>スポーツ・オリンピック・パラリンピックの在り方の提言</p>	<p>課題 「あなたはある新聞社の論説委員です。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツの意義や価値について、社説の執筆を担当することになりました。社説はその社の責任ある意見および主張として載せる論説です。今後のスポーツ・オリンピックの在り方について、社説を書きましょう。」</p>	<p>オリンピック競技大会から見られる現代スポーツの特徴について、スポーツの意義や価値と課題を関連付けて、論理的にまとめることができるようになる。</p>

本授業モデルは、スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の一環として、広島県コンソーシアムが作成、編集を行いました

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を実施するにあたり、広島県においてオリンピック・パラリンピック教育を推進するための共同事業体（広島県教育委員会・広島大学・推進校）